

令和2年度

行政評価外部評価報告書

令和2年12月

鯖江市行政評価委員会

鯖江市長 佐々木 勝久 様

鯖江市の事務事業について、鯖江市行政評価委員会による評価を実施し、このたび本報告書を取りまとめましたので報告いたします。

令和2年12月21日

鯖江市行政評価委員会

委員長	井上	武史
副委員長	奥田	俊雄
委員	上坂	起美好
委員	岸本	大紀
委員	千葉	真貴子

— 目次 —

1	はじめに	1
2	評価対象	1
3	評価手順	1
4	評価結果	1
5	評価対象事業および評価結果一覧	2
6	総括	2
7	おわりに	3
＜個別評価結果＞			
	交通安全教室開催事業	5
	いきいき講座事業	7
	越前ものづくりの里プロジェクト事業	9
	つつじマラソン開催事業	11
＜資料編＞			
	鯖江市行政評価委員会の開催経過	14
	鯖江市行政評価委員会委員名簿	14
	鯖江市行政評価委員会設置要綱	15

1 はじめに

鯖江市においては、令和2年3月に策定した「第2期 鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、さまざまな施策に取り組んでいます。総合戦略の着実な推進を図るため、平成31（令和元）年度実施事業を対象に行政による内部評価が実施され、令和3年度の方向性について示されたところでもあります。この度、「市民の目線・生活者の視点」に立った内部評価が行われているかどうかを検証し、評価の透明性と多様性をより高めるために、学識経験者や総合戦略推進会議委員等の5名の委員で構成された「鯖江市行政評価委員会」を設置し、第三者による外部評価を実施しました。

2 評価対象

鯖江市行政評価委員会が行う外部評価の対象は、鯖江市が実施した「事務事業評価」としました。ただし、行政評価対象の429事務事業すべてを対象に外部評価を行うことは、限られた時間と労力の点から困難です。そこで、内部評価の結果、次年度の方向性を「維持」としたイベント事業（市の行事、催事、講座等）に焦点を当て、該当する39事業の中から、評価委員によって選択された4事業を対象としました。

3 評価手順

- ① 評価する事務事業を選択しました。
 - ・ 委員会で、評価対象事務事業を選択
- ② 選択した事務事業について、個別の評価を実施しました。
 - ・ 事務事業評価調書に基づき、所管部署へのヒアリングを実施
 - ・ 質疑、討論を踏まえ、方向性の評価や付帯意見の整理などを実施（方向性は「事務改善」、「内容拡大」、「内容縮小」、「維持」、「廃止・休止」、「統合」、「隔年開催」の7区分）
- ③ 外部評価の総括を行いました。

4 評価結果

評価を行った4事業の方向性についての評価結果は、「事務改善」とした事業が1事業、「維持」とした事業が3事業となりました。

【抽出事務事業の評価結果比較表】

方向性	内部評価	外部評価
事務改善	0	1
維持	4	3

5 評価対象事業および評価結果一覧

No.	事業名	所管部署	内部評価	外部評価
1	交通安全教室開催事業	市民まちづくり課	維持	維持
2	いきいき講座事業	長寿福祉課	維持	事務改善
3	越前ものづくりの里プロジェクト事業	商工政策課	維持	維持
4	つつじマラソン開催事業	生涯学習・スポーツ課	維持	維持

6 総括

(1) 評価は、各事業の所管部署へのヒアリングを実施し、事業内容の理解を深めた上で行いました。方向性については、3つの事業が内部評価と同様となりました。

なお、内部評価と外部評価が「維持」であっても、事業内容は必ずしも同じではなく、それぞれの事業で細かな改善が行われてきたことは評価しつつも、市民の目線から更なる改善等に結びつく意見が出されましたので、事業ごとに付された委員の意見を踏まえて、より効果のある事業とするよう見直しをお願いします。

また、いきいき講座事業における外部評価の方向性は「事務改善」となりましたが、今年度の前向きな改善姿勢を来年度も継続していただきたいという委員の意見を踏まえたものであり、決して否定的な意味ではありません。むしろ、担当部署が事業効果を高める努力をしている点を積極的に評価した結果といえます。

イベント事業の効果を高めるためには、事業の目的は何か、誰をターゲットにするのか、予算をどれほどの規模とするか、効果を継続しつつ新たな取組みをどのように加えていくべきかなど、さまざまな要素を考慮する必要があります。

今回の評価では、4事業とも、毎年イベント内容を検証し、積極的な改善に努めていることは評価されますが、コロナ禍でも安全安心かつ、より効果的に開催できる工夫を常に模索していただき、新しい生活様式に対応した事業展開をお願いします。その他、具体的な点に関しては後記のとおりです。

〈評価票の内容について〉

① 予算

限られた予算の中で、事業の最大限の効果が得られるよう、適切な予算規模とその配分が求められます。そのためには、経営的な視点を持って、新たな財源の確保や、常にコスト削減を検討しつつ、事務の改善に努めるべきと考えます。今回、方向性項目の中に「隔年開催」が追加され、そのような方向性が強まるものと予想しましたが、実際に「隔年開催」となった事業は1事業にとどまりました。市の財政状況を鑑みて、今一度、他に「隔年開催」できる事業はないのかを今後検討していただきたいと思います。

② 評価

今回、調書の様式が改善された点は、高く評価できます。例えば、歳入歳出や財源の欄が追加されたことにより、財政状況に対する意識付けが図られています。また、前年度の事業実績に加えて評価時点における今年度の取組内容に対する課題も踏まえることで、次年度の変更点がより明確になりました。また、評価の過程も分かりやすくなっています。その一方で、必要性や事務改善の余地の欄については、得点を直感的に評価しづらくなっているため、各評価項目の点数に応じたランクを表示する等の改善が望まれます。

〈事業の広報について〉

事業をより多くの人に伝え、来場者の増加につなげていくためには、事業のより効果的な情報発信を行う必要があります。効果的な情報発信の方法は日々変化しています。新たな試みとして、テレビや新聞、チラシ、インターネット、SNSなどの複数のメディアを活用するメディアミックスを行ったり、事業に関わる歴史やエピソードなどのストーリーをあわせて発信したりすることにより、多くの人に興味を持ってもらい、記憶に残る広報となります。

- (2) 委員会では、各事業に対し多様な意見が出され活発な議論が行われました。外部評価の結果、付帯意見については、所管部署で対応策を検討することですが、評価委員会の意見が次年度にどう反映され、実施されるのかを公開することがPDCAサイクルを貫徹するために必要と考えます。
- (3) 外部評価の対象として、行政評価対象の429事業の中から、イベント事業に焦点を当て39事業を抽出し、4事業を選定して評価しました。今回の意見には、抽出された事業のみならず、あらゆるイベント事業にとって重要な点を含んでいることから、他のイベント事業のあり方を考える際にも積極的に活かしていただきたいと思えます。

7 おわりに

この外部評価は、市民に密着した、透明性の高い市政運営を推進するための取組みである行政評価の一翼を担うものであり、今年度で12回目となります。

個別の事務事業の評価結果については後述しますが、各行政評価委員が「市民の目線・生活者の視点」に立ち、第三者の立場から評価した結果としてまとめたものであります。

今回の外部評価結果は行政側の評価とほぼ同様でしたが、結果のみに満足することなく、付帯意見も踏まえて不断の改善を心がけていただきたいと思います。また、さまざまなイベント事業がある中で、今回評価対象とならなかった事業についても、「市民の目線・生活者の視点」で事業がなされているか、この報告書の記載を踏まえ、今一度、振り返っていただくことを改めて望みます。

個別評価結果

令和2年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

R2 事業名	交通安全教室開催事業	事業コード	1247
-----------	------------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	433
		安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	交通安全の推進	

PLAN(計画)	部署名	市民まちづくり課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	交通安全教室を開催し、交通事故の防止と交通安全教育の徹底を行うとともに、幼児・高齢者用広報ポスター等を配布し、交通安全思想の普及を図る。				
	概要	交通安全教育指導員(2名)により幼児・児童および高齢者を対象に交通安全教室を開催し、交通事故の防止と交通安全教育の徹底を行う。また、交通安全の啓発用ポスターやチラシを作成し、交通安全思想の普及に努める。				
法令根拠		実施形態	現在	市直営		
		内容	交通安全教育指導員(2名)が主体となって、鯖江警察署や交通指導員会等と協力して、交通安全教室を開催している。			

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した事業

R2年度以降、コロナの影響により事業内容等に変更がある場合はチェック

令和2年度 変更内容	幼児、小・中学校、高齢者の交通安全教室が予定通り開催できないため、何度も予定を組みなおしている。
令和3年度 変更内容	交通事故を減らすためにも交通安全教室の開催は必要のためコロナに対応した教室を考えて実施する。

活動指標							
指標名	単位	年度				R2(2020)	R3(2021)
交通安全啓発チラシ・ポスターの作成	回	目標値				30	30
		実績値					
幼児、小・中学校、高齢者交通安全教室開催数	回	目標値				50	50
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度				R2(2020)	R3(2021)
交通安全教室等の参加者数	人	目標値				6,000	6,000
		実績値					
計算根拠	幼児、小・中学校、高齢者交通安全教室参加者数および出前講座参加者数	達成率					
		実数値					

■ 新型コロナウイルス感染症に対応不要の事業

活動指標							
指標名	単位	年度	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)
交通安全啓発チラシ・ポスターの作成	回	目標値	12	30	30		
		実績値	45	45	45		
幼児、小・中学校、高齢者交通安全教室開催数	回	目標値	190	190	190		
		実績値	217	211	171		
成果指標							
指標名	単位	年度	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)
交通安全教室等の参加者数	人	目標値	15,000	15,000	15,000		
		実績値	14,330	12,856	9,425		
計算根拠	幼児、小・中学校、高齢者交通安全教室参加者数および出前講座参加者数	達成率	95.5	85.7	62.8		
		実数値					
		ランク	A	B	C		

事業要員	正規職員		ランクB、Cの理由 交通指導員2名が総入れ替えになったため、年度当初の事業周知がうまくできなかったことと、年度後半はコロナの影響で予定していた教室が中止となったため。
	臨時・嘱託	2	
	※所要時間	0	

令和2年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

【単位:千円】

区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R1補助金等名称
事業費						
予算額	4,667	5,041	5,007	5,172	5,585	
決算額	4,578	5,041	4,838	4,450		

DOO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	2	1	9	201	交通安全対策諸経費	8,931	5,585
2							
3							
4							
5以降							
合計							5,585

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	人件費

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いい・2はい) 1 2 3 4 5

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) 1 2

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) 1 2

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
(評価1削減できない~5大幅に削減できる) 1 2 3 4 5

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
(評価1削減できない~5大幅に削減できる) 1 2 3 4 5

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
(評価1確保できない~5大幅に確保できる) 1 2 3 4 5

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
(評価1向上できない~5大幅に向上できる) 1 2 3 4 5

①必要性 評価点数の合計

14 / 16

②事務改善 評価点数の合計

5 / 20

ACTION

R2取組み

R2年度取組み
取組内容
交通安全教育指導員2名で、市内の保育園・小中学校や高齢者サロン等を対象に交通安全教室を開催する。また、就学前の児童の保護者向けに交通安全教室を開催する。交通安全思想の普及の一環として、年齢層に応じたチラシや反射材等の交通安全啓発グッズの配布を行う。
来年度から、小学校での交通安全教室を一部の学年から全学年に変更する。

R1年度の実績
R1年度については計画通り実施できた。

R3年度方向性
R1年度実績とR2年度経過を踏まえた課題
令和2年度から小学校の交通安全教室を全学年実施する計画だったが、コロナにより半数以上実施できていない。また、中学校、幼児(保育園・幼稚園等)および高齢者においては、全て中止となっている。交通事故を減らすためにも交通安全教室は重要であることから、コロナに対応した教室内容を考えていく必要性がある。

実績と課題を踏まえたR3年度の変更点
コロナに対応した交通安全教室を考えていく。

R3取組み

委員会の意見
R3取組み

取組内容
・複数の指導員が同時に辞めたことで教室の開催に関係機関の協力を得たことを踏まえて、今後も連携がとれる体制を引き続き取っていただきたい。
・成果指標の参加人数について、対面での参加に限定せずに、ビデオ視聴者等実質的に啓発できた人を挙げていただきたい。
・高齢者に対する自動車への安全装置装着の啓発等、時代に合わせたカリキュラムの見直しを検討していただきたい。

令和2年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

R2 事業名	いきいき講座事業	事業コード	2182
-----------	----------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	332
		若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	健康づくりと積極的な介護予防の推進	

PLAN(計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	高齢者に対し、介護予防に関する知識・情報等を啓発し、介護予防に自ら取り組めるようにする。				
	概要	自分で来場可能な高齢者を対象とした、身近な介護予防の取り組み方の講座を地区公民館等で開設する。				
	法令根拠	介護保険法	実施形態	現在	民間等委託(一部)	
			内容	市内4法人に企画・運営を委託している		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した事業

R2年度以降、コロナの影響により事業内容等で変更がある場合はチェック

令和2年度 変更内容	事業対象者を昨年度参加者で希望する人の内、開催会場の広さにより人数制限を行い、対象者限定で月1回の参加と開催時間も90分と時間を短縮し開催。市内の感染者発生時には中止し、再開時には、個別案内を行う。今年度から、カラオケ体操を導入した内容であったが、感染リスクの高い内容は変更し実施した。
令和3年度 変更内容	委託事業者およびスタッフも含め、感染症対策を十分に整え、1回あたりの講座対象者の人数制限は継続するが、より多くの人が参加できる仕組みおよび講座内容を再度、検討する。

活動指標							
指標名		単位	年度			R2(2020)	R3(2021)
講座開設数		カ所	目標値			10	10
			実績値				
成果指標							
指標名		単位	年度			R2(2020)	R3(2021)
延べ参加者数		人	目標値			4,000	1400
			実績値				
計算根拠	参加者合計		達成率				
			実数値				

■ 新型コロナウイルス感染症に対応不要の事業

活動指標								
指標名		単位	年度	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)
講座開設数		カ所	目標値	10	10	10		
			実績値	10	10	10		
成果指標								
指標名		単位	年度	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)
延べ参加者数		人	目標値	4,650	4,900	4,950		
			実績値	4,753	3,968	3,869		
計算根拠	参加者合計		達成率	102.2	81.1	78.2		
			実数値					
			ランク	A	B	C		

事業要員	正規職員	0.15	ランクB、Cの理由 新型コロナ感染症により2月及び3月計画の23回中止となり、延べ参加者数は昨年度より99人減少した。
	臨時・嘱託		
	※所要時間	0	

DO(実施)

令和2年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

【単位:千円】

区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R1補助金等名称
事業費						
予算額	4,457	4,186	5,405	5,282	10,390	地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)交付金
決算額	4,157	3,816	4,367	4,088		

DOO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	5	2	1	2	介護予防普及啓発事業費	17,471	10,390	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	10,390

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)	会計	介護保険事業特別会計
1	地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)(国)	2,078	タイプ	事業タイプ
2	調整交付金 総合事業	382		交付金事業
3	支払基金 地域支援事業	2,805	経費区分	物件費
4	地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)(県)	1,298		
5以降				
		合計	6,563	

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

②事務改善 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい) <input checked="" type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> はい	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 (評価1削減できない～5大幅に削減できる) <input checked="" type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし～5必ず実施すべき) <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 (評価1削減できない～5大幅に削減できる) <input checked="" type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし～5十分にニーズあり) <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5	今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 (評価1確保できない～5大幅に確保できる) <input checked="" type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 (評価1向上できない～5大幅に向上できる) <input checked="" type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	①必要性 評価点数の合計 <input type="text" value="12"/> / 16
②事務改善 評価点数の合計 <input type="text" value="4"/> / 20	

ACTION

R2年度取組み	R2取組み <input type="text" value="内容拡大"/> 取組内容 13年継続して開催してきた事業であるが、介護予防普及啓発としては、内容がマンネリ化し、年々参加者が減少し、新規参加者も少ない状況である。一方、市内3か所の入浴施設でH29より開始したカラオケ機器を活用した介護予防事業「湯ったりクラブ」は、大変好評で参加者も多く、各地区展開をしていることが望ましい。これらのことから、「いきいき講座」の健康相談および介護予防啓発機能を残し、法人委託を継続しながら「湯ったりクラブ」を統合し実施していく。
R1年度の実績	R1年度実績 地区公民館10か所で毎月2回、相談しませんか、学びませんか、楽しみませんかの3つの講座で介護予防の知識普及啓発および相談事業を開催。実参加者数は、昨年度より増加したが、延べ参加者数は、新型コロナウイルス感染症流行期であった2～3月は中止したため、約100人減少。
R3年度方向性	R1年度実績とR2年度経過を踏まえた課題 いきいき講座と湯ったりクラブの講座内容の見直しとフレイル予防事業との調整も含め、回数、定員、内容の見直しが必要。 実績と課題を踏まえたR3年度の変更点 継続して、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、介護予防、フレイル予防に関する知識の普及啓発と各自が実践できる事業内容を行う。また、新型コロナウイルス感染症の情勢により中止の場合、参加高齢者への電話等での相談やフレイル予防への取り組み支援を行う。
R3取組み	<input type="text" value="維持"/>
委員会の意見	R3取組み <input type="text" value="事務改善"/> 取組内容 ・類似事業があるため、事業内容やターゲット、効果を整理し、本事業の位置付けを明確にさせていただくとともに、他事業と連携を図るなど、新しい方向性を模索してマンネリ化を防いでいただきたい。 ・コロナ禍により利用定員を設定したことで参加者が減少しているため、これまで以上に参加できない人のフォローアップに努めていただきたい。 ・自宅で本事業に取り組んでいる人も成果実績であるため、成果指標に含めていただきたい。

令和2年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

R2 事業名	越前ものづくりの里プロジェクト事業	事業コード	3271
-----------	--------------------------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	262
		若者が住みたくなるまちの創造	地域資源を活かす観光の推進	広域観光の推進	

PLAN(計画)	部署名	商工政策課	開始年度	2015	終了年度	9999
	目的	福井県の伝統工芸(越前漆器、越前和紙、越前打刃物、越前焼、越前箆)の各産地が丹南地域に集積している特色を活かし、産地が連携して職人の育成や産地の魅力向上に取り組むことにより、伝統的工芸品の知名度向上と需要拡大を図る。				
	概要	工芸分野に携わりたいと考える若者等が、高い技能に加え、魅力ある商品づくりのためのデザインや経営的な視点を学ぶことができる「職人塾」事業および産地連携による地域ブランド力を向上するため、「見せる」「売る」「広げる」の3つの戦略を展開する。				
	法令根拠	実施形態	現在	補助金等交付		
		内容	越前ものづくりの里プロジェクト協議会への負担金 3,614,000円 伝統工芸職人塾補助金 17,952,000円(6月補正)			

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した事業
 R2年度以降、コロナの影響により事業内容等に変更がある場合はチェック

令和2年度 変更内容	
令和3年度 変更内容	

活動指標							
指標名	単位	年度				R2(2020)	R3(2021)
成果指標							
指標名	単位	年度				R2(2020)	R3(2021)

■ 新型コロナウイルス感染症に対応不要の事業

活動指標							
指標名	単位	年度	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)
育成する職人数	人	目標値	6	5	4	5	5
		実績値	6	6	6		
計算根拠		達成率	100	120	150		
		実績値					
		ランク	A	A	A		

事業要員	正規職員	0.75	ランク B、Cの 理由
	臨時・嘱託		
	※所要時間	0	

DO(実施)

令和2年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

【単位:千円】

区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R1補助金等名称
予算額	17,565	12,517	11,760	12,119	21,565	地方創生推進交付金
決算額	14,596	11,080	11,613	11,178		

DOO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	7	1	2	203	地域産業振興事業費	51,105	21,565
2							
3							
4							
5以降							
合計							21,565

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)	会計	一般会計
1	伝統工芸職人塾補助金(推進交付金)	8,976	事業タイプ	補助(県)事業
2	地方創生推進交付金	6,294	経費区分	その他
3				
4				
5以降				
合計		15,270		

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

必要性	法令により実施することが義務づけられているか。(評価1いいえ・2はい) <input checked="" type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
	行政が実施すべき事業か。(評価1必要なし~5必ず実施すべき) <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
	住民等のニーズはあるか。(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
	国・県または民間のサービスと競合している事業がある。(評価1はい・2いいえ) <input type="radio"/> 1 <input checked="" type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
	事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。(評価1はい・2いいえ) <input type="radio"/> 1 <input checked="" type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5

②事務改善 評価項目

効率性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。(評価1削減できない~5大幅に削減できる) <input checked="" type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。(評価1削減できない~5大幅に削減できる) <input checked="" type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
有効性	今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。(評価1確保できない~5大幅に確保できる) <input checked="" type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
	今以上に、成果を向上させる余地はないか。(評価1向上できない~5大幅に向上できる) <input checked="" type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5

①必要性 評価点数の合計

15 / 16

②事務改善 評価点数の合計

4 / 20

ACTION

R2年度取組み	R2取組み 維持
取組内容	県が中心となり、丹南5産地の伝統工芸振興を行うもの。「長期職人塾」から市内企業への就職者も出ていることから継続して後継者対策として実施する。さらに、5産地連携によるRENEW参加など伝統工芸品の発信力強化、販売増、産地への誘客に向けた効果も出てきていることから引き続き事業展開する。また「未来の伝統工芸士育成支援事業」補助金を令和2年度に新設し、同プロジェクト長期職人塾修了生の更なる高度な技術の習得を後押しする。

R1年度の実績	長期職人塾6人、短期職人塾4人の参加者
R3年度方向性	R1年度実績とR2年度経過を踏まえた課題 ニーズはあるが、職人塾修了後の仕事がなく、産地への就職に繋がらない 実績と課題を踏まえたR3年度の変更点 修了生本人と雇用できる事業所への支援や、事業を継承される職人の実子への対象拡大
R3取組み	R3取組み 維持

委員会の意見	R3取組み 維持
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 職人塾修了生が引き続き雇用してもらえるように事業所に対して経営のアドバイスをを行うような支援策の拡充を検討していただきたい。 塾生の横のつながりが強固となるような工夫を検討していただきたい。 県外の若者へ向けて、鯖江の職人が持つ全国トップクラスの技術力を更にPRしていただきたい。 伝統工芸大学校との連携については引き続きお願いしたい。 県補助が無くなっても本事業を継続するのかどうか、今後の県の動向を注視し方向性を判断していただきたい。

令和2年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

R2 事業名	つつじマラソン開催事業	事業コード	436
-----------	-------------	-------	-----

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	324
		若くて元気のまちの創造	子どもがいそいそと過ごすまち	スポーツ環境の充実	

PLAN(計画)	部署名	生涯学習・スポーツ課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	市民だれもが気軽に参加できるよう多種多様な種目を実施し、市民の健康づくり・体力づくりを図る。				
	概要	県内外から選手を募り、楽しみながら走られる市民マラソンを開催する。				
	法令根拠	実施形態	現在	民間等委託(全部) 実行委員会により開催している。		

<p>■ 新型コロナウイルス感染症に対応した事業 R2年度以降、コロナの影響により事業内容等に変更がある場合はチェック <input checked="" type="checkbox"/></p>	
令和2年度 変更内容	R2.3月に第42回つつじマラソンの中止を決定した。
令和3年度 変更内容	美浜マラソンと同日開催のため、互いに情報交換をしながらコロナ感染拡大防止策を検討したうえで年内には開催の可否の判断を出していく。

活動指標							
指標名		単位	年度			R2(2020)	R3(2021)
マラソンの開催		回	目標値			-	1
			実績値				
成果指標							
指標名		単位	年度			R2(2020)	R3(2021)
マラソン申込者数		人	目標値			-	3,200
			実績値				
計算根拠			達成率				
			実数値				

■ 新型コロナウイルス感染症に対応不要の事業								
活動指標								
指標名		単位	年度	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)
マラソンの開催		回	目標値	1	1	1		
			実績値	1	1	1		
成果指標								
指標名		単位	年度	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)
マラソン申込者数		人	目標値	3,200	3,200	3,200		
			実績値	3,608	3,400	3,336		
計算根拠			達成率	112.8	106.3	104.3		
			実数値					
			ランク	A	A	A		

事業要員	正規職員	0.6	ランク B、Cの 理由
	臨時・嘱託	0	
	※所要時間	0	

DO(実施)

令和2年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

【単位:千円】

区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R1補助金等名称
事業費						
予算額	7,500	5,000	5,500	5,000	5,000	
決算額	7,279	4,703	5,223	4,945		

DOO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	10	6	2	204	各種スポーツ大会開催費	7,325	5,000
2							
3							
4							
5以降							
合計							5,000

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)	会計	一般会計
1	(独)日本スポーツ振興センター助成金	4,000	事業タイプ	単独事業
2			経費区分	物件費
3				
4				
5以降				
合計		4,000		

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ

②事務改善 評価項目

効率性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 (評価1削減できない~5大幅に削減できる)	<input checked="" type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
有効性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 (評価1削減できない~5大幅に削減できる)	<input checked="" type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
	今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 (評価1確保できない~5大幅に確保できる)	<input checked="" type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 (評価1向上できない~5大幅に向上できる)	<input checked="" type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5

①必要性 評価点数の合計

15 / 16

②事務改善 評価点数の合計

4 / 20

ACTION

R2年度取組み	R2取組み	維持
取組内容	本大会は県外からも多くのランナーが参加する市民マラソン大会として認知度が高い。だれもが気軽に参加でき、健康づくり・体力づくりや、家族とのふれあい、仲間との親睦を図る意味でも有意義なイベントとして定着しており、今後も鯖江を有効にPRする事業として維持したい。ただし、既存コースの交通規制に対する地域関係者からの不満等もあり、コース変更について検討していく。	

R1年度の実績	R1年度	5月に開催する市民マラソンとして市内はもとより市外のマラソン愛好者にも認知されており、R1年度についても3,336人という多数の申込者となり、成果指標を上回る実績となった。
R3年度方向性	R3年度	R1年度実績とR2年度経過を踏まえた課題 現在のマラソンコースの交通規制に対する地域関係者からの不満がある。 実績と課題を踏まえたR3年度の変更点 新型コロナウイルスの感染状況等に注視し、必要な対策を講じるなど、参加者および運営要員の安全を確保した大会実施を実現する。また、マラソンコースの変更について、関係団体や関係機関との調整も含め、検討を進める。

R3取組み	R3取組み	維持
-------	-------	----

委員会の意見	R3取組み	維持
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍に対応して開催できるよう、さまざまな工夫を凝らしていただきたい。 ・コロナ禍による経費の増額が予想されるため、さまざまなパターンでの収入と経費を想定し、参加者負担金の見直しも視野に入れて協議していただきたい。 ・開催時期が5月であるため、開催中止となった場合の代替策を年度末までに準備し、ITの活用を含めた別の手段で事業目的が達成できるよう努めていただきたい。 ・市民の関心が高い事業であるため、事業を開催するのかどうかについて、検討状況をオープンにし、結果についてもできる限り速やかに公表していただきたい。 	

資料編

鯖江市行政評価委員会の開催経過

会議	開催日	内容
第1回	令和2年11月30日(月) 19:00～ 4階全員協議会室	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長および副委員長の選出 ・鯖江市の行政評価制度の概要 ・外部評価の実施手順 ・評価対象事務事業の抽出 【外部評価の実践(2事務事業)】 ・つつじマラソン開催事業 ・いきいき講座事業
第2回	令和2年12月7日(月) 19:00～ 4階全員協議会室	<ul style="list-style-type: none"> 【外部評価の実践(2事務事業)】 ・越前ものづくりの里プロジェクト事業 ・交通安全教室開催事業 ・総括審査
	令和2年12月21日(月) 14:00～ 市長応接室	<ul style="list-style-type: none"> ・市長報告

鯖江市行政評価委員会委員名簿

氏名		役職等
井上 武史	◎	東洋大学経済学部総合政策学科 教授 鯖江市総合戦略推進会議委員
奥田 俊雄	○	区長会連合会 副会長
上坂 起美好		パッケージプラザ福井問屋店 代表 もうえもん農場
岸本 大紀		鯖江商工会議所青年部 会長
千葉 真貴子		谷口法律事務所鯖江支所弁護士 鯖江市総合戦略推進会議委員

(敬称略：◎委員長 ○副委員長)

鯖江市行政評価委員会設置要綱

(設置)

第1条 鯖江市が行う行政評価について、客観性および透明性を高めるため、鯖江市行政評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 委員会の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 庁内組織による内部評価結果に関して調査および審議を行い、意見を述べること。
- (2) 行政評価制度の推進に関して意見を述べること。

(組織)

第3条 委員会は、委員10人以内で組織する。

- 2 委員は、市民、学識経験者のうちから市長が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、1年以内とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長および副委員長)

第5条 委員会に、委員長および副委員長各1人を置く。

- 2 委員長および副委員長は、委員の互選により定める。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときまたは委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

- 2 会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 委員長が必要と認めるときは、関係者の出席または資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、政策経営部めがねのまちさばえ戦略課において処理する。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか委員会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成19年7月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成31年4月1日から施行する。